

学 年	3年	時 間	学級活動「家具の配置と固定の工夫」 「ねている部屋は大じょうぶ？」	時 期	9月 or 10月 関連行事頃	時 数	1時間（45分） 第2時／全2時間
本時目標		自分が毎日寝ている部屋の様子を表すことを通して、地震が起こったときに危険な物を見つけ、防災のために自分にできることを考えることができる。					
資料・準備		総務省消防庁「チャレンジ防災48」の映像25「家の中の揺れの様子」、赤い丸シール、空の菓子箱等を活用（部屋再現）または「家ぐはいち書きこみシート」「書き込み例」、代表的な家具の絵のシート（貼り付け用）、白紙シート（書き加え用）、ワークシート					

（第1時）地震の避難訓練を振り返り、教室の中で危険なものは何かを考え、なぜそれが危ないのかを話しあう。（第2時は自分が毎日寝ている部屋の危険を見つけるという予告をし、その部屋にある物を書き出す作業を宿題に出す。）

展開（第2時）

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 地震の揺れによる室内の様子の映像を見る。 ◇地震が起きたときの「部屋の様子」を見ましょう。	○「地震で揺れる部屋のような様子」の映像を見せ、地震の恐ろしさを意識させる。
展 開	ねている部屋のきけんを見つけよう	
	2 自分が毎日寝ている部屋の危険について考える。 ◇自分が毎日寝ている部屋の中にある物の中で、危険だと思う物を発表しましょう。 ・たんす ・本箱 ・テレビ ・時計 ・照明（蛍光灯）・かがみ など 3 自分の寝室の様子を、箱またはワークシートに絵を貼ったり書き込んだりして、部屋を再現させて、地震で揺れた場合の危険について考える。 ◇自分が寝ている部屋の様子分かるように、家具カードを貼ったり絵を書き加えたりしましょう。 ◇この部屋で寝ているときに地震が起きた場合、どのような危険があるか、危険だと思う物に赤丸シールを貼って、その場所と理由を書き出しましょう。 4 見つけた危険な物とその理由をグループで紹介し合い、地震の被害を減らすためにはどうしたらよいか話し合う。 ◇見つけた危険な所を紹介しあいましょう。 ◇地震の被害を減らすには、どうしたらよいでしょう。	○前時の宿題ワークシート（自分が寝ている部屋にある家具や物品等の書き出し）を見ながら発表させる。 ○友達の発表を聞き、自分が書き落としていた物をあれば付け加えるよう促す。 ○班の形で作業させる。 ○絵カードを配布する。絵カードにない場合も想定し、白紙カード（自分で描けるよう）も準備しておく。 ○自分の寝ている部屋を想起して、同じ場所にカードを貼ったり絵を描き加えたりさせる。 ○家具の配置場所に重点を置くので、家具の大きさ等にはこだわらないよう助言する。 ○危険だと思う物に赤丸シールを貼って、その物と理由を書き出させる。 ☆危険箇所を見つけてシールを貼っている。 ○自分一人でも、被害を減らすためにできることについて話し合わせる。 ○整理整頓、移動、固定（落ちない、倒れない） ○倒れる向きを考えさせるなど、寝ている自分に家具が倒れてこないよう考えさせる。
ま と め	5 今日の学習を振り返り、自分に何ができるかワークシートに書く。 ◇地震に備えて家でしようと思うことをワークシートに書きましょう。 ・整理整頓をする。 ・家の人に学習したことを伝える。 ・一緒に家具の場所をかえる。 ・布団をひく場所をかえる	○自分自身にできることと、家族の人と一緒にすることなどを分けて書かせ、自分一人でもできることは、すぐにでも取りかかるよう激励する。 ☆地震の被害を減らすために自分ができていることを具体的に考えている。

関連する 教科・領域等	
協力団体	